

メがっながる

「よつりば」にGO!

市は、父親同士がつながり集まる子育てひろば「よつりば」を次の通り開催します。

▽日時 4月16日、5月21日、6月18日、7月16日、8月20日、9月17日、10月15日、11月19日、12月17日、来年1月21日、2月18日、3月17日の日曜午前10時～11時半▽場所 IIスワンホール3階▽対象 13歳児とその男性保護者(きょうだいの参加可)。

無料(親子の名札・靴袋持参)。当日直接、会場へ。

◎ベビダンズ 正しい抱っこ紐の使い方、抱っこひもの正しい装着法を学び、ベビダンズを楽しみます。

日時と会場は▽①4月12日(水) II子育て支援センター▽②17日(月)IIスタホール。いずれも午後2時。

対象・定員は①9～12カ月とその保護者②首が据わっている4～8カ月とその保護者。各13組。

親子の名札、体温計、抱っこひも、バスタオル持参。無料。

4月3日に市ホームページから子育て支援センターInstagramから電子申請を。

子育て支援センター ☎71・1152。

◆子育てサークル支援補助金を交付 市は、就学前の保護者で構成し、子育てに関する活動を支援する団体に子育てサークル支援補助金を次の通り交付します。

【対象団体】 次の全てに該当する団体▽年間を通して計画的に活動する▽おおむね10人以上で構成し、構成員の3分の2以上が市内在住▽宗教・政治・営利活動でない▽市から他の補助金を受けていない【対象事業】

▽育児の支え合い、育児不安の解消を目的とする情報交換会▽児童の健全育成を目的とする行事・学習会【対象経費】講師謝

り上げ、出生率を反転させなければならぬ」と決意を表明しました。そして今年度から、子ども政策を強力に推進する国の司令塔として、「子ども家庭庁」が発足します。

我が国では記録的な少子化の結果、急速な人口減少が進行中です。総理が話すように、「異次元の」子ども・子育て政策に取り組み、人口減少にブレーキをかけることが待ったなしの課題です。

こうした中、本市では厳しい財政状況下ではありますが、今年度、子育て施策に重点的に予算を配分します。未来を担う子



子育て施策の充実に向けて

子どもたちの健やかな成長を支えるため、これまでの行財政改革などにより確保した財源を活用し、子育て世帯の支援にこれまでに以上に積極的に取り組みます。

まずは、子ども医療費助成の拡充です。中学生までの医療費無償化の所得制限を撤廃し、併せて、高校生世代の入院医療費を無償化対象に加えます。

次に保育料無償化の対象拡大です。子ども2人以上同時に保育所などを利用する場合の第2子の保育料無償化に加え、年収360万円未満相当世帯の第2子は第1子の年齢を問わず保育料を

男女共同参画施策市民オンブード 各種委員を募集します

募集種別一覧

種別	応募資格	募集人数	任期
①市男女共同参画市民オンブード	市内在住・在勤・在学の18歳以上で男女共同参画の推進に関心がある人	1人	委員 日3月～日31年
②市総合交際委員	市内在住・在勤・在学の人(他の審議会などの委員、市職員、市議員を除く)	各2人	委員 日2年 調査 日～日 審議 日～日 報告 日～日
③教科書選定委員	市内在住の18歳以上で小・中学校で使用している教科書に直接の利害関係がない人	各2人	委員 日～日 令和7年3月
④廃棄物減量推進委員	市内在住・在勤・在学の18歳以上(市議会議員、市職員、市議員を除く)	各2人	委員 日～日 令和7年3月

計画の推進状況を市民の立場から調査・報告する「市男女共同参画施策市民オンブード」などを右表の通り募集します。

無償化します。さらに、各小学校の児童くらぶで希望者に対し、夏休み期間中に昼食提供を開始します。私はこれまで、「伊丹のまちづくりは人づくりから」と申し上げ、子ども重視の市政運営してきました。今年度はさらに、「子育てしやすい」「住みたい・住み続けたい」と感じていただけるまちの実現に向け、伊丹の将来を展望した「子育て施策」を一段と強力に推し進めていきます。ご期待ください。(伊丹市長 藤原 保幸)

【対象団体】 市内で長期継続的・自主的な子育て支援活動に取り組む、次の全てに該当する団体▽5人以上で構成し、構成員の3分の2以上が市内在住▽宗教・政治・営利活動でない▽市から他の補助金を受けていない【対象事業】 子育て交流事業、協同保育事業、その他の子

育て事業(いずれも一定の条件あり)【補助金額】 予算の範囲内で1団体につき、年50万円上限。審査あり。

4月3日～5月31日に直接、同課(☎74・7711)へ。◆児童くらぶ夏季休業期間の入所申し込みを受け付け 市教委は、児童くらぶの夏季休業期間(7月から)の入所申し込みを受け付けします。

より午後7時まで延長可。要育成料。育成料は月額8千円(おやつ代別)。

いづれも報酬あり。

必要事項を書き、①男女共同参画に関する作文(2千字以内)を添えて、4月20日までに直接か郵送(必着)で〒664・8503伊丹市役所男女共同参画課(☎74・8146)②「伊丹市の交通政策について関心のあること」と題した小論文(800程度)を添えて、4月28日までに直接か郵送(必着)で、同交通政策課(☎74・8052)③「教科書と教育」と題した作文(千字程度)を添えて、4月3～7日に直接か郵送(必着)で同教育委員会事務局学校指導課(☎780・3534)④「ごみの減量や資源化について考えること」と題した作文(800程度)を添えて、4月28日までに郵送(必着)で同減量推進課(代表☎73・1234)へ。①②④は後日面接あり。

◆市の組織を改正 市は、4月1日、市総合計画に掲げる施策目標を着実、効率的に実現するため組織の一部を改正します。主な改正は次の通り。

▽総務部II総務室および庁舎・周辺整備担当を設置▽市民自治部II減量推進課を環境クリーセンターからまちづくり室に移管▽健康福祉部II母子保健課を設置▽特定施策推進班II新型コロナウイルス接種推進班および臨時特別給付金等事業推進班を廃止▽教育委員会事務局IIこ

社会を明るくする運動 イラストを募集

社会を明るくする運動伊丹市推進委員会は、非行などの防止と罪を犯した人の立ち直りや更生に理解を深める啓発チラシなどに掲載するイラスト作品を次の通り募集します。

▽応募資格 II 市内在住・在学の小・中学生▽応募作品 II A4サイズのグラフィック作品(コンピュータで作成)か手書きの絵でカラーのもの1人1点(自作・未発表のもの)。

応募作品は返却不可。採用者には賞状・記念品を贈呈。 応募作品に住所、氏名(ふりがな)、学校名、学年、電話番号を書いた用紙を添えて、5月8日までに直接か郵送(必着)で〒664・8503伊丹市役所地域・高年福祉課内、社会を明るくする運動推進班へ。

◆伊丹一句の日 入賞作品を発表 市立伊丹ミュージアムは、「伊丹一句(19)の日」令和4年10～12月分の入賞作品を決定しました。

10～12月の3カ月間に計3千446句の投句があり、特選3句、入選57句が決定しました。 各月の特選作品と作者は次の通り(敬称略)。

【10月分】「よく寝ると人もバツも元氣いい」谷口陽三。

【11月分】「指先の陶土の乾き冬近し」榎野実。

【12月分】「花八手わたくしにある不発弾」鶴濱節子。

入賞作品は同館ホームページで発表。 伊丹市立伊丹ミュージアム ☎72・5959。



昨年度の最優秀作品